

1 単元 室積地域を支える一員として自分たちにできること

2 指導の立場

＜子どもの実態から＞

子どもは、これまでに室積地域の魅力を発見するためのフィールドワークを自分たちで計画して実行している。そこでは、学級や学年で話し合いながら、自分たちで考えをまとめ、計画しながら活動を進めてきた。このような子どもが、地域のためにできることについて、自分たちで計画を立てる話し合いを行い、振り返りながらよりよく課題を解決しようとする探究的な学習の過程を繰り返す。その中で、目的を意識して活動を振り返ることで、目的と活動との整合性をとるとともに、課題解決に向けて見通しをもちながら自分たちの力で探究を進めようとすることができるだろう。

そこで、次のような題材を設定する。

＜題材について＞

本題材は、学校周辺の室積地域について生徒の立場でできる貢献を考えることから、生徒自身が具体的に考え、計画しやすい題材といえる。ここでは、生徒自身が探究を実践し、探究を高度化・自律化していく実感をもたせることが大切である。そこで、生徒自身が活動の見通しをもつとともに、その活動を振り返って今後に生かそうとする振り返りを行う場面を設定する。様々な地域に住む生徒が在籍している本学級において、地域について多様な視点で考えを共有し、幅広い可能性を視野に入れたり、焦点化し深く掘り下げたりすることで、地域に対する理解を深めながら積極的に社会に参画しようとするだろう。

そこで、指導にあたっては、次の点に留意する。

＜指導上の留意点＞

- 学習の初めに、地域の様々な人々にとって自分たちはどのような存在かを話し合う場面を設定する。そうすることで、対象とする地域についての具体的なイメージをもち、自分たちの取組の目的を意識しながら学習を進めていくことができるようにする。
- 学習を通して、目的を意識しながら自分たちで話し合い、その度に振り返りの場面を設定する。そうすることで、その度に成長と課題に自ら気づき、よりよく課題を解決しようとすることを繰り返し、探究を高度化・自律化する実感をもたせるようにする。
- 学習の終わりには、目的に立ち振り返りながらこれまでの活動を振り返る場面を設定する。そうすることで、これまでの学習を振り返り、次の活動や今後の自己の生き方に生かしていくことができるようにする。

3 目標

地域社会を生きる自分たちができることを考え、計画を立て、実行する活動を通して、自分たちの生活と地域社会との関わりがあることを理解し、地域社会の魅力や課題等の情報を生かして話し合いながら計画を考え、実行するとともに、課題解決に向けて協働しながら学んだことを振り返り、今後の生活や学習に生かすことができるようにする。

4 指導計画（総時数 21 時間）

次	学習活動・内容	単元の指導上の留意点
一 ⑬	○ 地域社会の一員として、自分たちにできることを話し合い、計画を立て、活動に取り組む。 ・ 地域の人々にとっての自分たちの存在 ・ 地域のためにできることの計画 ・ 話し合いの進め方	○ 話し合いの振り返りを繰り返し設定することで、成長と課題に自ら気づき、探究を高度化・自律化できるようにする。
二 ⑧ 本時 8 / 8	○ 自分たちの活動について振り返り、さらにどんなことができるかを話し合い、計画を立てる。 ・ これまでの活動の成果と課題 ・ 振り返りの視点 ・ 地域のためにできることの計画 ● これまでの活動や学んだことをまとめ、振り返り、これからの学習や生活への見通しをもつ。 ・ これまでの活動の成果と課題 ・ 地域社会での自己の在り方 ・ 今後の自己の生き方	○ 活動の振り返りを基に、地域のために自分たちができることをもう一度計画する活動を設定する。そうすることで、振り返りを踏まえて探究をより高度化することができるようにする。 ○ 題材の初めからこれまでの変容を確認した上で振り返る場面を設定することで、自身の変容とこれからの成長への見通しをもつことができるようにする。

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地域を支える人々や組織の存在を知り、地域の様々な人々や組織が関わっていることについて理解している。 ②地域のために自分たちにできることの計画を話し合い、目的に応じて適切に実施している。 ③自分たちの活動を振り返ることによって、自らの行為が、地域社会やこれからの生活と深く関わっていることに気付いている。	①地域のために自分たちにできることについて、地域の実際の状況の中から課題を設定している。 ②他者に自分の考えが伝わるように、目的に応じて情報を分類したり、表現方法を工夫したりしている。 ③自分たちの話し合いや活動を振り返る中で、自分自身の成長と課題に気づき、これからの生活にどのように生かしたいかを明らかにしている。	①地域のために自分たちにできることの計画についての話し合いに粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。 ②地域のために自分たちにできることに前向きに取り組もうとしている。 ③自分たちの話し合いや活動から、これからの生活の在り方を積極的に考えようとしている。

6 本時案 ー第二次・8時分ー

(1) 主眼 自分たちが行なった活動を振り返り、活動を通して得た成果と課題を話し合うことを通して、自分たちの成長や課題に気づき、振り返りを基にして今後の学習や自己の生き方への見通しをもととすることができる。

(2) 準備 ワークシート

(3) 学習の展開

学習活動・内容（発問）	予想される子どもの反応	指導上の留意点	分
1 自分たちのこれまでの活動を想起し、自分たちの活動を考える ・これまでの活動の想起 ・本時の見通し	ア 自分たちの話し合いや活動を振り返って、改善しながら地域のための活動を実施してきた イ これまでの記録をもとにどんな成長や課題があったかを話し合いたいね ウ 個人で振り返りの後に、全体で共有してまとめていくのはどうだろう	・ これまでの活動の想起を基に意見交流させることで、学習の目的を意識した上で本時の見通しを考えることができるようにする。	7
2 本時の見通しを踏まえて、活動に取り組む ・振り返りの視点 ・これまでの成果と課題 ・よりよい探究に必要なこと	ア 1回目の活動の振り返りで挙げられていた課題が、2回目の活動で改善されていたね イ 初めは全体で意見を合わせるのが難しかったけど、毎回の振り返りを踏まえてまとめていけるようになったね ウ 他の人の考えを聞くことで、自分にはなかった考えを知ることができ、新しい考え方ができるようになったよ エ 初めは自分事として捉えていなかったけど、実際に地域で活動する事で、関わりが深くなっていったよ	・ これまでの振り返りの記録を基に考えさせることで、自身の成長と課題を捉えることができるようにする。 ・ それぞれの振り返りを共有した上で学級全体での振り返りを行うことで、学級集団としての振り返りにつなげられるようにする。	35
3 本時の学習を振り返り、今後の自己の生き方を考える ・本時の活動の振り返り ・地域のためにできること ・自己の生き方	ア 活動の目的に立ち返りながら振り返りをすることが大切だと感じたよ イ 視点を決めておくことで話し合いの内容を深めていくことができるね ウ いろいろな考えを出すための話し合いの形についても工夫していきたい	・ 本時の振り返りから挙げた課題を踏まえて考えさせることで、振り返りを基に今後の学習や生活をよりよいものに改善していこうとすることができるようにする。	50

(4) 評価規準と方法

これまでの活動の振り返りを基に、今後の学習や自己の生き方に生かそうとしているか、授業中の発言やワークシートの記述からみとる。

<メモ>